

2010年7月21日

各 位

ご案内

第9回JAFIC 漁業情報研究会
スルメイカの漁況動向をさぐる

時下、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

常日頃より、当センターの活動に対しまして暖かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。このほど別紙の通り第9回研究会を企画しました。ここに謹んでご案内申し上げます。

社団法人漁業情報サービスセンター
情報企画プロジェクトチーム
担当：二平 章（にひら・あきら）
Tel:03-5547-6886 Fax:03-5547-6881
E-mail:anihira@jafic.or.jp

第9回JAFIC 漁業情報研究会 スルメイカの漁況動向をさぐる

主催：漁業情報サービスセンター

●とき：2010年7月30日（金）午後2時から5時

●ところ：漁業情報サービスセンター会議室

●話題提供

- | | |
|---|-------------|
| 1. 今期スルメイカの漁況経過と特徴（開催趣旨）
渡邊一功（JAFIC） | 14:00-14:30 |
| 2. 日本周辺におけるスルメイカの資源動向
木所英昭（日本海区水産研究所）
休憩（15分） | 14:30-15:15 |
| 3. 日本海におけるスルメイカの漁況動向
四方崇文（石川県水産総合センター） | 15:30-16:00 |
| 4. 岩手県沖スルメイカの来遊と漁獲変動
後藤友明（岩手県水産技術センター） | 16:00-16:30 |
| 討論 座長：二平 章（JAFIC） | 16:30-17:00 |

●開催趣旨：1970年代半ばから低迷を続けていた日本周辺スルメイカ資源は1990年代から増加期を迎え、冬期発生群の漁獲量は近年、日本・韓国合わせて20万トン台を維持している。しかし、安定的な日本海側漁獲量に対して、太平洋側漁獲量は変動が大きく、1998年・1999年・2006年には1992年以降の平均を大きく下回る4万トン台を示した。今期は東北海域では下層水温は低温傾向にあり、また、現在までに来遊している秋生まれ・冬生まれ群とも魚体が小さい。このような状況下、本格的な夏イカシーズンの到来を迎え、スルメイカの夏秋期の漁況動向について議論する。

●その他：事前にメールまたはファックスで申込ください。

研究会終了後、参加者交流会を行います（交流会参加費1,000円）。

●申込先：情報企画プロジェクトチーム（にひら）

E-mail: anihira@jafic.or.jp

Tel: 03-5547-6886

Fax: 03-5547-6881

●JAFIC 漁業情報研究会の開催実績

第1回：今年のカツオ漁況動向をさぐる

とき：2009年6月3日 参加者：47人

報告者：二平 章（茨城大）・石井光廣（千葉水試）・本田 修（JAFIC）

第2回：道東サンマの漁況・流通動向をさぐる

とき：2009年6月24日 参加者：49人

報告者：中園博雄（JAFIC）・小林 喬（元釧路水試）・高橋祐一郎（農林水産政策研究所）

第3回：イワシと気候変動・漁業の未来を考える

とき：2009年7月1日 参加者：32人

報告者：川崎 健（東北大学）

第4回：スルメイカの資源から流通・消費までの課題をさぐる

とき：2009年8月5日 参加者：50人

報告者：緑川 聡（JAFIC）・渡邊一功（JAFIC）・木所英昭（日本海区水研）

第5回：マグロ漁場の形成機構解明に向けて

とき：2009年12月17日 参加者：50人

報告者：緑川 聡（JAFIC）・友定 彰（JAFIC）・細萱安彦（JAFIC）・為石日出生（JAFIC）
・矢野泰隆（JAFIC）

第6回：2009年カツオ漁況をふりかえる

とき：2010年1月10日 参加者：20人

報告者：細窪 迅（JAFIC）・二平 章（JAFIC）・榊純一郎（鹿児島水試）・溝口幸一郎（宮崎水試）・菊池隆展（愛媛水研セ）・山中順（高知水試）・堀井善弘（東京八丈）
・石井光廣（千葉水研セ）・竹内淳一（和歌山水試）・山下秀幸（水産総合研究センター）

第7回：「初カツオ」の漁況動向をさぐる

とき：2010年4月12日(月) 参加者：70人

報告者：稲掛伝三（中央水研）・御所豊穂（和歌山水試）・堀井善弘（東京八丈）・東 明浩（宮崎水試）・石井光廣（千葉水研セ）・嘉山（長井水産）

第8回：マサバ資源は回復に向かうのか、2007・2009年級群をめぐって

とき：2010年6月4日(金) 参加者：65人

報告者：山口閑常（JAFIC）・篠田和宏（JAFIC）・小沢竜太（茨城水試）
・川島時英（千葉水研セ）・岡部 久（神奈川水技セ）